

環境ショーケース ゼロエミッションハウス

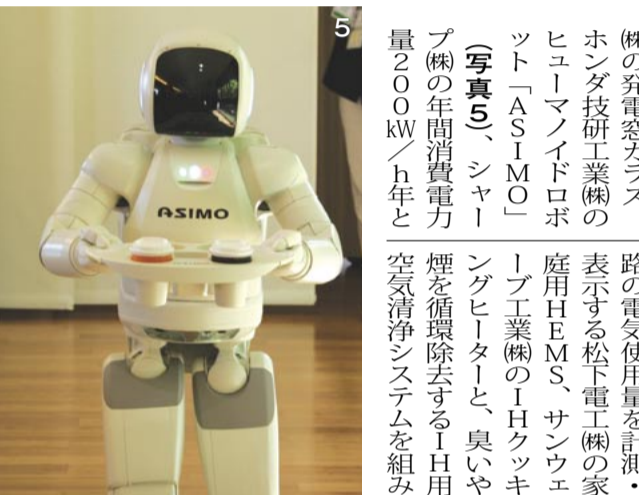
経済産業省は北海道・洞爺湖サミットの期間中、ルストツに設けられた国際メディアセンター内に、耐震性・断熱性など日本の工業化住宅の優れた技術を駆使し、快適な暮らしを実現する近未来型住宅『ゼロエミッションハウス』(約280㎡)を設置した。
外務省から取材記者証を入手し、国際メディアセンター内の北海道情報館・環境ショーケース、ゼロエミッションハウスを取材した。

首脳夫人らが視察

屋外展示されているゼロエミッションハウスの(COP4・6)ヒートポンプ給湯器、都市ごみ焼却残渣などをセメントに利用する太平洋セメント(株)のエコセメント、積水ハウス(株)の14・5kWタイプ太陽光発電システム、サムット期間中は各国首脳夫人も視察(写真2)した。
下電器産業(株)の高効率LED照明、都市ごみ焼却残渣などをセメントに利用する太平洋セメント(株)のエコセメント、積水ハウス(株)の14・5kWタイプ太陽光発電システム、サムット期間中は各国首脳夫人も視察(写真2)した。

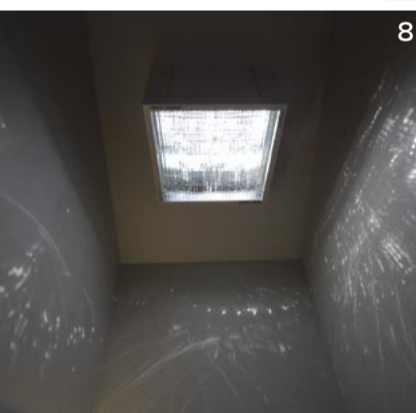
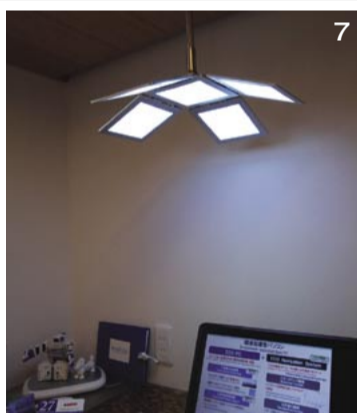
省エネ製品が続々

入り口にある通り土間自然エネルギー発電システムなどが供給する電力を蓄えるポータブルリチウム電源装置、東芝キャリア(株)の最先端の省エネルギーエアコン、日本板硝子(株)・積水ハウス(株)の真空断熱ガラス「スベシア21」、日本テレコム(株)の発電窓ガラス、ホンダ技研工業(株)のヒューマノイドロボット「ASIMO」(写真5)、シャープ(株)の年間消費電力量200kW/h年と



有機EL照明なども

書斎にはアキレス(株)の真空断熱材と硬質ウレタンボードを組み合わせたハイブリッド断熱ボード、積水ハウス(株)の地震動エネルギー吸収システム「シーカス」の展示、(岡山県産業技術振興機構)有機エレクトロニクス研究所の有機EL照明



環境ショーケース

ゼロエミッションハウスの背後に建設されたのが、海外マスコミなどの報道拠点である国際メディアセンターと、その1階に設置された環境ショーケース(写真10)だ。
建物の正面外観には道産のカラマツの間伐材を活用した集成材を張り巡らした植栽でカバー。植栽は北海道の植生を再現し、上は高山帯、下へ行くと低地の自生物を植え込



日本の伝統的なわび、質素の美、質朴を表現した地球茶室(写真11)、ヒートポンプシステムの構造(写真12)やメカニ

ズムをわかりやすく表現(写真13)、「触れる地球」と題し地球温暖化や台風、津波の発生過程などが自分の手で地球を回しながら実感できる地球儀(写真14)などが展示されている。また北海道情報館内には、北海道洞爺湖サミット道民会議が北海道の魅力を発信するために設置

したスペースを使って、北海道建設部が北方型住宅の仕様や性能などを展示(写真15)した。ゼロエミッションハウスはサミット終了後、場所を移設して一般公開を検討している。

